

地域とともに励むエコ・ピカプロジェクトが充実感・一体感醸す

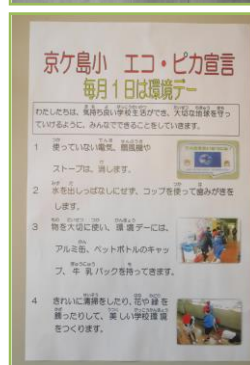
協会会長賞 群馬県 高崎市立京ヶ島小学校

高崎 IC の近くに位置する同校は、1873 年に創立された古い歴史を持つ。親子 3 代にわたって通う家庭もあるなど、地域に根差した教育を進めるかたわら、2009 年に市が取り組む学校版 ISO に参加。それを機に、低学年にも理解できて自然に続けられるように「エコ・ピカプロジェクト」と名付けた多様な環境改善活動を開始した。そのひとつが、毎月 1 日を環境デーに設定し、登校時にアルミ缶や牛乳パックなどを回収・分別する取り組みだ。環境美化委員会を中心に、校内放送を始めチラシを作成するなどして地域にも呼びかけた結果、学校に持ち寄る住民の協力体制が整い、月平均 500 余名が参加している。

また、毎月第 1 火曜日を「花いちりんの日」と決め、家庭や道端などに咲いている花を学校に持ち寄り、校内を花でいっぱいにする運動を行っている。花壇では、栽培委員が季節の花々を咲かせるなど、豊かな環境づくりに励む。加えて、節電や節水にも率先して取り組んでいる。昨年は、使用しない電気の消灯を促す「PPK（パチパチ消す）キャンペーン」を児童が考案し、寸劇を披露しながら環境改善に一役買った。

そうした主体性を培いながら意欲的に関わる態度を養う中で、地域住民との連携も活発化。校区が広範囲に及ぶ同校では、通学班のエリアごとに、毎年 800 人前後が地域のクリーン活動に参加している。気持ちよく 2 学期が迎えられるようにと夏休みの最後の日曜、児童は保護者や住民とともに通学路の清掃にいそむ。

住民同士のきずなが強く、児童の登下校時には、毎日安全パトロールを務めるなど協力を惜しまない。住民の反町朱實子（すみこ）さんは、「子どもたちが取り組む小さな積み重ねが、地域に広がっていて、お互いに環境について学びあっていたらうれしい」と力を込める。地域全体で協力し合って進める美化活動が、社会貢献につながり、児童に一体感や充実感をもたらしている。



群馬県高崎市立京ヶ島（きょうがしま）小学校

学校長：小野里 明弘（おのざと あきひろ）

児童数：419 名（2017 年 11 月末現在）

住所：群馬県高崎市京目町 44 番地 1

電話：027-352-2925

アクセス：JR「高崎」駅からクルマで約 20 分

写真上：住民もアルミ缶を持参する環境デー、
上から 2 番目：PPK キャンペーンで楽しく節電、
上から 3 番目左：「エコピカ宣言」を掲げ
アピール、右：校内外を彩る花いっぱい運動、
下：大勢の参加者でにぎわう地域クリーン活動